

## 第1回宇部市地域福祉プラン策定懇話会

1 日 時 令和2年11月24日(火) 14時~15時

2 場 所 宇部市総合福祉会館 3階 講習室

3 議 事 (1) 宇部市地域ふくしプランの進捗状況  
(2) 第二次プラン策定の手法及びスケジュール

4 会議資料 ①第1回宇部市地域ふくしプラン策定懇話会次第  
②第二次宇部市地域ふくしプラン策定懇話会メンバー  
③第二次宇部市地域ふくしプラン策定懇話会設置要綱  
④地域ふくしプラン(概要版)  
⑤地域ふくしプラン成果指標一覧表  
⑥第二次宇部市地域ふくしプラン骨子  
⑦策定の手法及びスケジュール  
⑧宇部市地域福祉意識調査

### 5 概 要

#### (1) 会長及び副会長の選出について

会議資料(3)「第二次宇部市地域ふくしプラン策定懇話会設置要綱」に基づき次の委員が選出され承認された。

- ・会長：宇部フロンティア大学 伊藤 一統
- ・副会長：山口大学 斎藤 美矢子

#### (2) 議事について

事務局から、議事(1)については会議資料④⑤、議事(2)については会議資料⑥~⑧に基づき説明を行い、委員から原案どおり承認された。

また、委員からは、次項の発言がなされるなどした。

### 6 委員発言要旨

- (第一次)地域ふくしプランの指標として数値目標が掲げられているが、数値目標にそぐわない項目がある。
- 地域で相談しづらい対象者が多く、ダブルケアになる家庭も増えている。高齢者と障害者のどちらのことも相談できるところが地域にあると助かる人が多いのでは。
- 自分の「健幸」を維持するとともに、仲間の「健幸」を願い手助けすることが重要。
- 地域・保健福祉支援チームと一緒に活動することがあるが、市民が適切な相談先を使い分けられているか疑問。市や市社協で機能が重複した窓口や組織が多いと思う。複合的な課題を受け止める機能は必要であり、地域の人に分かりやすい相談窓口が必要。
- 市の高齢者や障害者など類似の計画があるが、そういった計画との連携や整合性は？  
→高齢、障害、子どもなど分野別の計画を踏まえた福祉分野の最上位計画として位置づけられるもの。各計画との整合性を取ることは必要と考えている。